

<記入例>

沿道掘削届

提出日

令和〇年〇〇月〇〇日

台東区長 殿

押印不要

届出者住所 東京都台東区東上野〇丁目〇番〇号

施行者氏名 株式会社台東建設

代表取締役 台東 太郎

会社電話 03-〇〇〇〇-〇〇〇〇

担当者 上野 次郎

担当者連絡先 080-〇〇〇〇-〇〇〇〇

下記のとおり沿道掘削の工事を実施したいので、関係書類を添付のうえ届出いたします。

記

住居表示

1 掘削場所 東京都台東区 東上野 〇丁目〇〇番〇〇号

山留杭打設から
地上部施工前(埋戻し)まで

2 掘削期間 令和 〇年 〇月 〇日 から 令和 〇年 〇月 〇日 まで

工事全体期間

3 工事期間 令和 〇年 〇月 〇日 から 令和 〇年 〇月 〇日 まで

4 掘削事由 (仮称) 台東区マンション新築 工事の沿道掘削

沿道区域内での道路掘削延長

5 掘削範囲 沿道掘削延長 43.0 メートル

最大深さ 3.0 メートル

一番深い根切り深さ

境界よりの離れ 1.0 メートル(山留工材の外周まで)

山留が道路に最も近接する箇所の距離

- 6 提出書類
- ・委任状
 - ・案内図、配置図
 - ・建築工事概要書
 - ・「建築工事確認済書」表紙のコピー
 - ・道路高低図(道路附属物記入)
 - ・道路現況写真
 - ・工事工程表
 - ・山留仕様書
 - ・(2.0m 以上掘削の場合)山留計画図、計算書、ボーリング柱状図

7 提出部数 正副 2 部(紙提出)

8 付帯工事 自費工事承認番号(台道自収第 号)

届出(予定)日(令和 年 月 日)

道路占用許可番号(第 号)

届出(予定)日(令和 年 月 日)

<記入例>

委任状

委任状を作成した日

令和〇年〇〇月〇〇日

東京都台東区長 殿

代理人住所 東京都台東区東上野〇丁目〇番〇号
(施 行 者) 氏 名 株式会社 台東建設
代表取締役 台東 太郎

押印不要

私は、上記の者を代理人として次の権限を委任しましたので通知いたします。

1 下記工事に伴う沿道掘削届及び工事に関する一切の件

記

工事場所.....東京都台東区東上野〇丁目〇〇番〇〇号.....

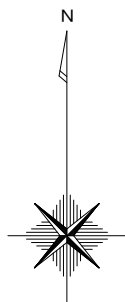
工事名称.....(仮称)台東区〇〇マンション新築工事.....

(施 主) 住 所.....東京都台東区浅草〇丁目〇〇番〇〇号.....

株式会社 〇〇〇〇
氏 名.....代表取締役 〇〇 〇〇.....

施主の代表者名

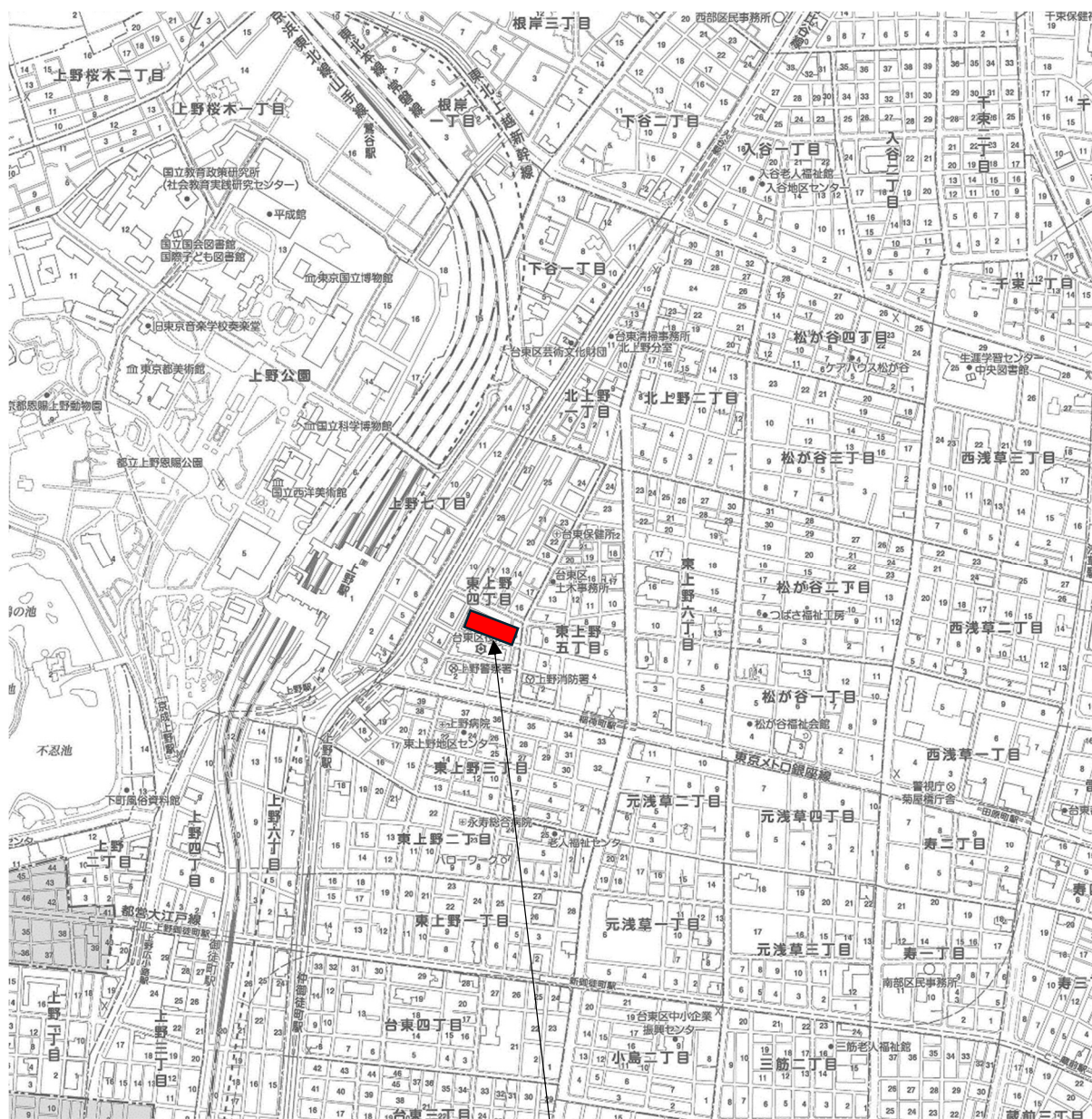
押印不要



<記入例>

※決められた書式はありません。

案内図

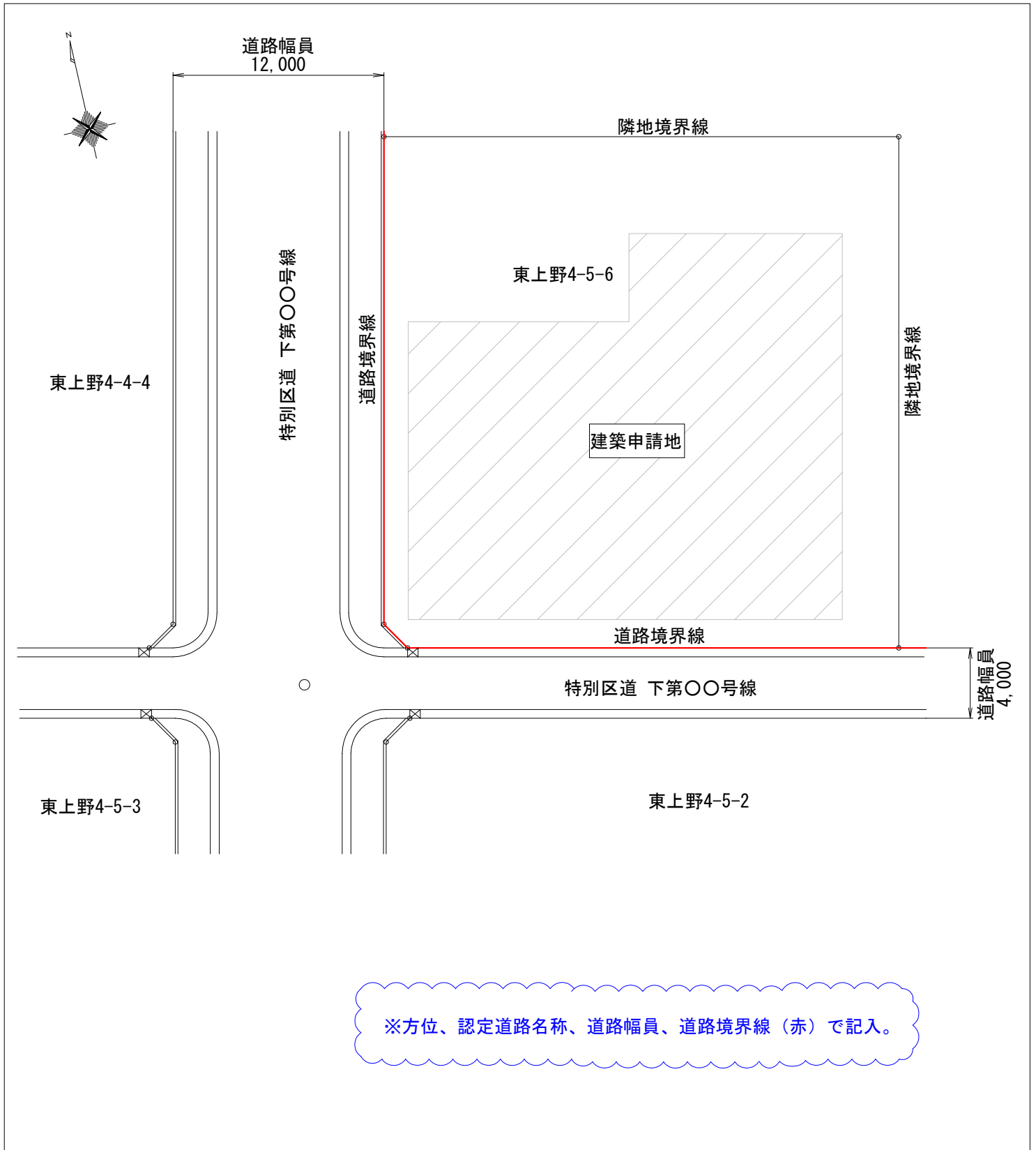


建築申請地

東京都台東区東上野四丁目5番6号

<記入例>
※決められた書式はありません。

配置図 S=1:300



<記入例>

※解体工事の場合は提出不要。

建 築 概 要

(工事名 (仮称)台東区〇〇マンション新築工事)

所在地 東京都台東区東上野〇丁目〇番〇号

敷地面積 300.00㎡

構造 RC造

建築面積 150.00㎡

延面積 1300.00㎡

最高高さ 35.00m

最高軒高 34.00m

階数 地上8階、地下1階

主要用途 共同住宅

設備 給水・排水・電気・ガス・建築設備

建築主 株式会社 台東建設 代表取締役 台東 太郎

設計監理者 株式会社 上野設計 一級建築士 上野 太郎

施工者 株式会社 浅草建設 代表取締役 浅草 太郎

建築確認年月日 令和〇年〇〇月〇〇日

必ず記入

申請中であれば「申請中」と記入

建築確認番号 第〇〇〇〇〇号

必ず記入

申請中であれば「申請中」と記入

※工事全体の工程表でも可。

工 程 表

種 別	4 月			5 月			6 月			7 月			8 月			9 月			10 月		
	5	15	25	5	15	25	5	15	25												
山留め工事																					

<記入例>

山留仕様書

1 山留工法

- ・ 親杭横矢板壁、自立
- ・ 鋼矢板壁、鋼製支保工 1 段
- ・ ソイルセメント柱列壁、鋼製支保工 2 段

2 山留壁材及び根切り深さ

根切り深さ	山 留 壁 材			
	杭 材	杭 長	杭間隔	矢板厚
GL - 2.000 (case1)	H-200×200×8×12	l=5.500m	@1.000	30mm
GL - 5.000 (case2)	SP-IV	l=7.500m	-	-
GL - 7.500 (case3)	ソイルセメント壁 長さ 11.000m (応力材)H-450×200×9×14 l=10.000m @450 ソイルセメント設計基準強度 $F_c=5\text{kg/cm}$			

※「矢板厚」は実際使用する厚みを記入する。

3 山留支保工材

段	架設位置	山 留 支 保 工 材		
		腹 起 し	切 ば り	火 打 ち
1	GL-1.000	H-250×250×9×14	H-250×250× 9×14	H-250×250× 9×14
2	GL-4.000	H-300×300×10×15	H-300×300×10×15	H-300×300×10×15

4 施工方法

1 次掘削 (GL-2.000m)

- ・ バックホウにて所定の深さまで掘削。
- ・ GL-1.000mの位置に1段目切ばり、腹起しを架設。

2 次掘削 (GL-5.000m)

- ・ バックホウにて所定の深さまで掘削。
- ・ GL-4.000mの位置に 2 段目切ばり、腹起しを架設。

3 次掘削

- ・ バックホウにて所定の深さまで掘削。クラムシェルにて積込み。
- ・ バックホウ及び人力にて床付け終了後、ただちに捨てコン打設。

1 次盛替

- ・ 立上がり壁コンクリート打設後、盛替え材を設置し、2 段目切ばり、腹起しを撤去。

2 次盛替

- ・ B1Fスラブコンクリート打設後、盛替え材を設置し、1段目切ばり、腹起しを撤去。

5 埋戻し及び矢板、親杭の撤去

地下構造体の構築後、締固め効果の高い良質土を機械にて締固めながら埋戻しを行う。

矢板または親杭の撤去は、周辺地盤や、隣接構造物に障害を与えないよう適切な処理をする。

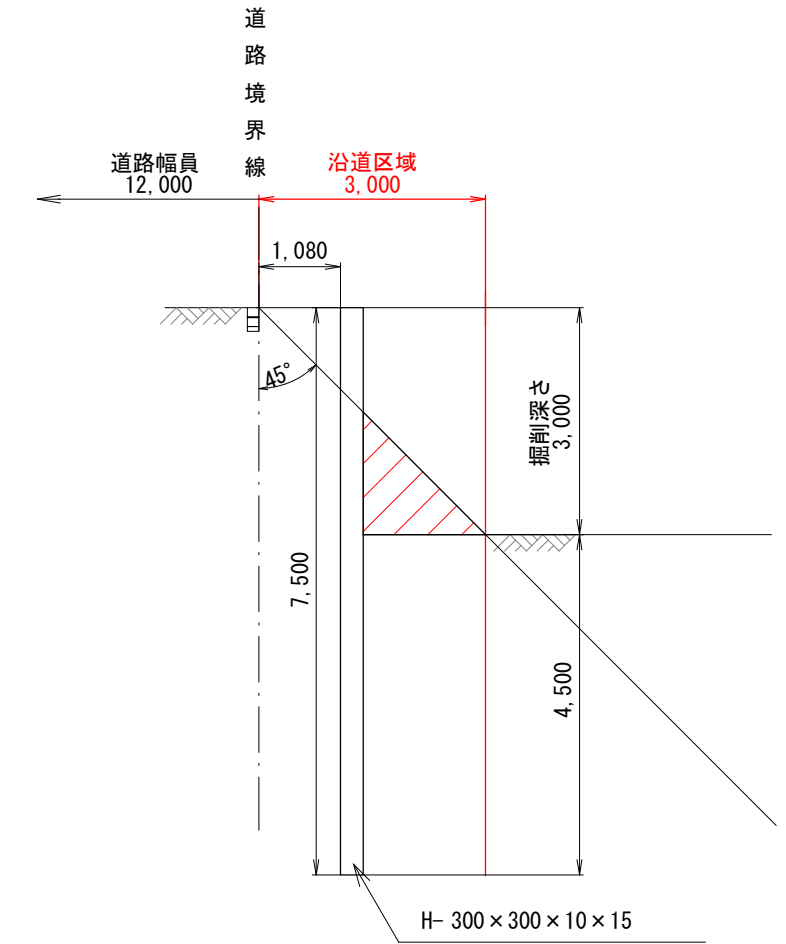
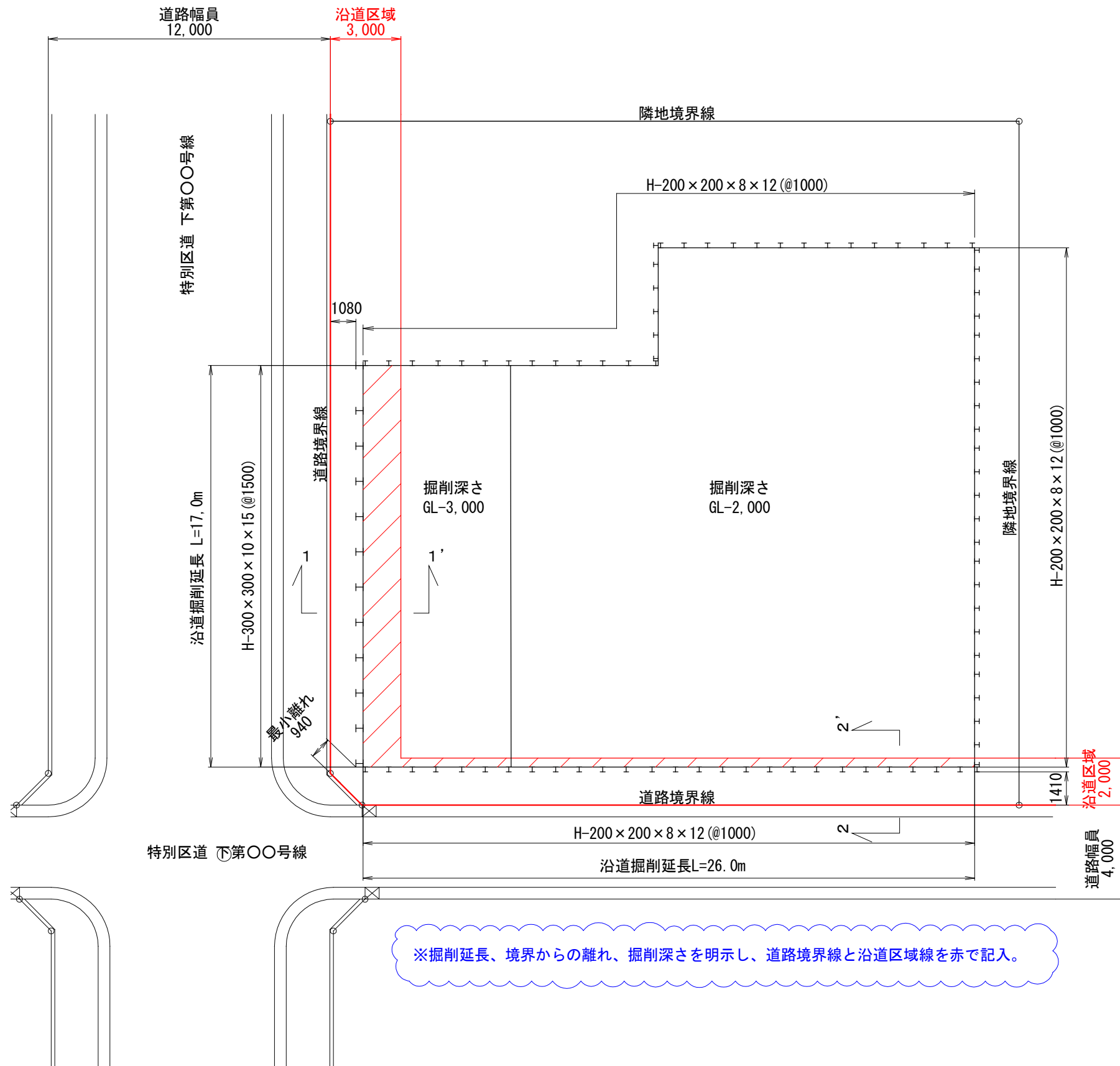
6 排水処理

排水設備は、釜場を設けて水中ポンプを用い濁水を吸上げ、沈殿槽にて浄化したのち、汚水桝に放流する。

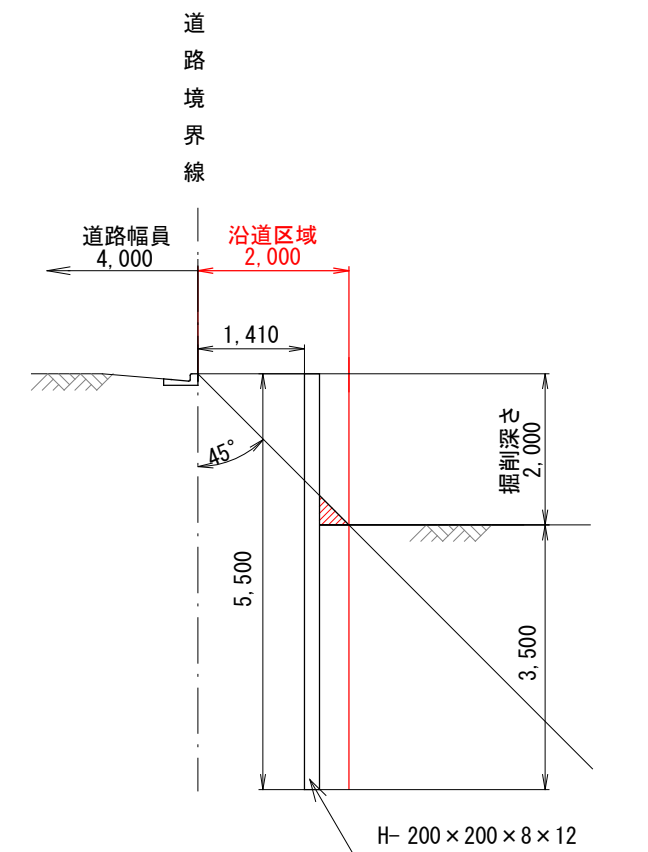
<記入例>
※決められた書式はありません。

山留計画図

計画平面図 S=1:200



1-1' 断面図 S=1:100



2-2' 断面図 S=1:100